

記入例

令和〇〇年度愛媛県立高等学校入学志願者調査書

ふりがな 氏名		〇〇〇 〇〇〇 〇〇 〇〇		性別	〇	※整理番号	地区別		号		
平成〇〇年〇〇月〇〇日生		卒業・修了		令和〇〇年〇月〇〇日		・事実に応じて「平成」「編入学／転入学」「卒業／修了見込み／修了」に書き換える					
出欠の録	学年	欠席日数	備考			卒業・修了後の経歴					
	1	2									
	2	14	虫垂炎手術10日、頭痛4日			・出席停止、忌引きは記入不要					
各教科の学習の録	項目	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	家庭	外国語
	観点別学習状況	観点1	A	A	A		A			A	A
		観点2					A				A
		観点3					A		C	A	A
		観点4					A			A	A
	評定	第1学期			4	4	5	4	3	4	5
		第2学期			5	3	5	4	3	5	5
第3学期				4	3	5	4	3	5	5	
総合的な学習の時間の記録	「ふるさと環境改善プロジェクト」(〇年)										
特別活動の記録	内容	第1学年	第2学年	第3学年	主な事実						
	学級活動	○	○		保健委員(1年)、英語係(2年)						
	生徒会活動			○	生徒会副会長(3年)						
行動の録	基本的な生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	創意工夫	思いやり・協力	生命尊重・自然愛護	勤労・奉仕	公正		
	○		○	○				○			
諸活動の記録	○サッカー部(1・2・3年) ・主将、フォワード ・県総体ベスト8(3年)、県総体出場(2年)、△△市総体優勝(2年) ○△△市主催読書感想文コンクール 佳作(3年) ○実用英語技能検定 準2級 ○珠算検定 1級 ○災害ボランティア参加(2年・3日間)				総合所見		○自分の発言には責任を持って行動し、務めをきちんと果たすことができた。 ○英語が得意で、ALTとの活動がきっかけで英会話が好きになり、学習への取組が、より意欲的になった。 ○高校卒業後は、大学で国際関係学を専攻し、将来は、国際的に活躍できる仕事に就くことを希望している。				
	・客観的事実のみ箇条書き ・資格、検定については、学年の記入は不要				・人物面、学習面、適性について、項目ごとに、原則、1文(30字程度～50字程度)で記入 ・健康の状況、その他必要な事項について記入する場合も同様		〇〇 〇〇 ④				
学校名 〇〇市立〇〇〇〇中学校 校長氏名 〇〇 〇〇		職印									

調査書作成要領

1 全体的留意事項

- (1) 原則として、数字はアラビア数字を用い、楷書で分かりやすく作成すること。ただし、コピーしたものを提出してもよい。
なお、必要に応じてゴム印を用いてもよい。
- (2) 記入事項のないときは、該当欄に右下がりの斜線を引くこと。
- (3) 中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）から摘記する事項については、その要点を的確に記入すること。
- (4) 「各教科の学習の記録」、「特別活動の記録」及び「行動の記録」欄に記入した評定や評価は、学習成績等一覧表に記入されたものと一致させること。
- (5) 推薦入学者選抜のための調査書については、第3学年の12月末日までの結果に基づいて作成すること。
- (6) ※印の欄は、高等学校において記入する。

2 記入上の注意

- (1) 組・番は、各学級の出席簿のとおりとし、学習成績等一覧表の番号と一致させること。
- (2) 出欠の記録
 - ア 指導要録から転記すること。ただし、卒業・修了見込みの者の第3学年については、1月末日現在で記入すること。
 - イ 「備考」欄には、次の事項を記入すること。
 - (ア) 欠席、遅刻、早退等が多い場合においては、その主な理由や状況等
 - (イ) 各学年で欠席日数10日以上又は連続して5日以上の場合においては、その主な理由
- (3) 「卒業・修了後の経歴」欄には、過年度卒業・修了者について卒業・修了後の状況を具体的に記入すること。
- (4) 各教科の学習の記録
 - ア 観点別学習状況の評価
 - (ア) 第3学年の観点別学習状況の評価を記入すること。
 - (イ) 卒業・修了見込みの者については、第3学年における1月末日までの学習状況を評価し、以下の各教科の観点1～4（国語は1～5）ごとにA及びCのみを記入すること。

教科 観点	国 語	社 会
観 点 1	国語への関心・意欲・態度	社会的事象への関心・意欲・態度
観 点 2	話す・聞く能力	社会的な思考・判断・表現
観 点 3	書く能力	資料活用の技能
観 点 4	読む能力	社会的事象についての知識・理解
観 点 5	言語についての知識・理解・技能	

教科 観点	数 学	理 科
観 点 1	数学への関心・意欲・態度	自然事象への関心・意欲・態度
観 点 2	数学的な見方や考え方	科学的な思考・表現
観 点 3	数学的な技能	観察・実験の技能
観 点 4	数量や図形などについての知識・理解	自然事象についての知識・理解

教科 観点	音 楽	美 術
観 点 1	音楽への関心・意欲・態度	美術への関心・意欲・態度
観 点 2	音楽表現の創意工夫	発想や構想の能力
観 点 3	音楽表現の技能	創造的な技能
観 点 4	鑑賞の能力	鑑賞の能力

教科 観点	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭
観 点 1	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	生活や技術への関心・意欲・態度
観 点 2	運動や健康・安全についての思考・判断	生活を工夫し創造する能力
観 点 3	運動の技能	生活の技能
観 点 4	運動や健康・安全についての知識・理解	生活や技術についての知識・理解

教科 観点	外 国 語
観 点 1	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
観 点 2	外国語表現の能力
観 点 3	外国語理解の能力
観 点 4	言語や文化についての知識・理解

イ 評定

教科の評定は、次のように行うこと。

(ア) 第1～第3学年について、指導要録の5段階評定をそのまま転記すること。

(イ) 卒業・修了見込みの者の第3学年については、生徒全員について1月末日までの学習状況を総合して、各教科ごとに5段階評定したものを記入すること。ただし、特別支援学級等在籍生徒のうち、5段階評定をしていない者は除くものとする。また、評定を男女別に行っている教科については、男女別にそれぞれの生徒全員を対象とすること。

ウ 選択教科を履修した場合は、選択教科の欄を追加し、選択した教科名、履修学年及び評定を、それぞれ記入すること。

(5) 総合的な学習の時間の記録

いずれか一つの学年について、学習活動（テーマ等）を記入すること。

(6) 特別活動の記録

ア 第1～第3学年について、指導要録の「特別活動の記録」を転記すること。

なお、卒業・修了見込みの者の第3学年については、1月末日までの活動が、各内容ごとにその趣旨に照らして、「十分満足できる状況にある」と判断される場合には、所定の欄に○印を記入すること。

イ 「主な事実」欄には、主として○印を付けたものについて、係名や委員会名及び学校行事における役割等を記入すること。

(7) 行動の記録

ア 第3学年の行動の記録を記入すること。

イ 卒業・修了見込みの者については、1月末日現在で、各項目の趣旨に照らして「十分満足できる状況にある」と判断される場合には、所定の欄に○印を記入すること。

(8) 諸活動の記録

学校内外のスポーツ活動、文化活動その他の活動において熱心に活動した者や顕著な実績を上げた者について、例えば、学年、種目、大会名、結果等について簡明に記入すること。

なお、諸活動の記録の記入に当たっては、生徒との面接などによって状況を把握し、選抜資料としての客観性・公平性を確保すること。

(9) 総合所見

本人の能力、適性、人物のほか、学習に影響を及ぼす健康の状況その他必要な事項について記入すること。

3 その他

海外帰国生徒等の場合やその他正当な理由が認められる場合には、調査書の一部又は全部を作成しないことができる。ただし、調査書に代わる参考資料を提出するものとする。